

気兼ねない活動参加が魅力

いばらき森林クラブ（茨城県）

「一番大事なことは
マイペース活動」

茨城県内の公有林や私有林など一・二箇所を拠点として活動するいばらき森林クラブが、今春都内で開かれた第一回みどりの式典で、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。間伐や下刈りなど定期的に森林整備を行うだけでなく、森林資源の利活用などを積極的に進め、地域における健全で豊かな森林の育成と保全に積極的に取り組んでいることが評価されての受賞です。

「森林に関してのいろいろな活動（作業）を、県下全域で行っていることが当会の特徴です」

と云うのは、クラブの代表を務める市野沢伊司さん。市野沢さんを中心に、約一八〇人の会員が、茨城県内のあらゆる地域で、あらゆる森林関連活動を実施しています。例えば、事務局のある那珂市の小学校の生徒さんたちが行う緑化活動をサポートしたり、森林でのゴミ拾いなど清掃活動を行ったり、その活動は多岐に渡ります。しかし、市野沢さんは会員だからといって全部の活動に参加することはないと思っています」と

子どもたちと一緒にクラブ創立10周年記念の植樹を実施





阿見町小池城址公園の森林整備後に出された看板



自分の持ち場を確認し、本格的に間伐を行います



のんびりと炭焼きを楽しむこともあります



樹木の状態を知ることも活動の一つ

「自分の興味のある活動、例えば、炭焼きに興味があれば炭焼きを行う活動のときに参加するだけでもいいし、子どもたちと一緒に竹細工遊びをしたいのであれば、その活動時に参加するだけでもいいのです。要するに、自分のペースで参加してもらえればいいのです。それが当会のモットーです」

義務も強制もない、そんなモットーに惹かれて参加してきた人たちも多いと言います。とくに、会社を定年退職し、第二の人生を楽しもうとする団塊世代の参加が目立ち、今

では六〇歳以上の会員が約六割にもなりました。

また、二〇〇五年からは森林ボランティアを志す方への入門講座として森林ボランティア育成講座を開講するなど、新たな森林ボランティアの育成にも積極的です。今春までに五〇人以上の方が講座を修了し、各々の地域で森林ボランティアとして活躍し始めるなど、少しずつ効果が出始めています。

市野沢さんは、今後の活動について言います。

「これまで、募金活動や植樹など、子どもたちと一緒に活動してきました

たが、もっと接点もてる活動をしたいです。あとは、高齢者でもできるような活動にどんどん取り組んでいきたいですね。高齢でも『活動したい』と意欲的な方は多いですから」

提唱する活動のあり方は、子どもも高齢者も、老若男女問わず一緒にあって、自分たちのできる範囲の森林関連活動であり、それらに携わる立場の違う方々とコミュニケーションを図りながら、あくまでもマイペースな活動。

「その結果、活動を通じて、満足感や幸せを感じてほしいですね」と、笑顔で市野沢さんは言います。

いばらき森林クラブの人間味溢れる考え方や活動は、今後さらに参加者が増え、活動が活発になっても揺らぐことはないでしょう。

data

〒 319-2102
 茨城県那珂市瓜連 1645
 ☎ 029-296-0981
<http://www10.ocn.ne.jp/shinrin/index.html>